

第 2 回教育委員会会議録

日 時	平成 29 年 2 月 27 日 開会 13 : 30～閉会 15 : 00
会 場	教育長室
出 席 者	宮 崎 肇 教育長 佐々木 義 朗 委員 山 田 律 子 委員 荒 井 由紀恵 委員
参 与	島 倉 弘 行 教育部長 加賀谷 隆 教育部学校指導室長 米 山 伸 哉 企画総務課長 竹 内 浩 二 生涯学習課長
書 記	堀田 企画総務課総務係長
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

教育長	<p>平成 29 年第 2 回教育委員会会議を開催いたします。 はじめに会議録の承認をお願いいたします。</p>
総務係長	<p>前回、1 月 30 日に開催されました平成 29 年第 1 回教育委員会会議は、議案が 2 件、議案第 1 号平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について、議案第 2 号千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、何れも原案のとおりご決定いただいております。また、報告が 1 件、報告第 1 号平成 29 年成人式はたちのつどいの開催結果については報告済みであります。</p>
教育長	<p>会議録承認の件よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
教育長	<p>次に私からの報告事項であります。 2 月の定例校長会での指示、指導事項について報告します。 1 点目は、いじめ問題への対応についてであり、文部科学省の有識者会議であるいじめ防止対策協議会において、いじめ防止対策推進法にかかる施策の改善が議論されているところであるが、今月 6 日に愛知県一宮市で中学 3 年の男子生徒、13 日に福島県南相馬市で中学 2 年の女子生徒が相次いで自殺するという、大変痛ましい事件が発生し、報道によるといずれもいじめが原因と思われるとしており、学校の対応等に課題が見受けられることから私たちは重く受け止める必要がある。各学校においては、教職員全員がいじめ問題に対し共通認識と危機感を共有し、事案が発生した場合は校長のリーダーシップのもと迅速・適切に対応することを強く要請しました。また、昨年 11 月の校長会でも指示したが、特に確認調査にあたっては、安易にいじめではないと判断するのではなく、状況を正確に把握したうえで、的確に判断すること。また、いじめを認識しながら放置することのないよう、さらには収束したと思われる案件においても学校全体で見守りを継続するなどの取組を徹底することを指示しました。 2 点目は、全学年を対象とした小学校外国語活動の実施についてということで、平成 28 年度は試行年度との位置づけではあるが、市内全小学校で 1～4 年生の外国語活動が実施されています。各校の積極的な取組を評価しました。平成 29 年度からは千歳市外国語活動指導計画及び指導案を活用し、小学校 1, 2 年生は 5 時間、3, 4 年生は 10 時間の外国語活動を全面実施するという一方で、各校の教育課程に適切に位置づけて実施し、小学校段階の英語教育の充実を図るよう指示しました。なお、小学校 1, 2 年生 5 時間、3, 4 年生 10 時間という時数は標準時数であり、この時数を超えて実施できる学校は積極的に取り</p>

組むようお話ししました。

3点目は、平成29、30年度小学校外国語活動巡回指導教員研修事業の実施ということで、小学校外国語活動の指導を行う専科教員を加配措置し、小学校教員の外国語活動等の指導力と英語力の向上を目的とした本研修事業を千歳市が受託しました。道教委の計画では平成32年度までに全市町村の全小学校で実施するとしている。千歳市では2カ年にわたり、千歳第二小学校を本務校とし、市内16小学校を兼務校として実施することとし、各校では、本研修事業を積極的に活用し、教員の指導力と英語力の向上に努めるよう指示しました。

4点目は、部活動指導の見直しに係る申し合わせについてであり、適正な部活動指導については、平成25年度の時間外勤務等縮減推進会議において、部活動指導の見直しに係る申し合わせを決定し、毎年度の時間外勤務等の縮減に向けた重点取組に位置付け、部活動休養日の設定等の取組を進めているところであるが、申し合わせに含まれていなかった文化系の部活動についても、部活動休養日の設定などに取り組む必要があることから、申し合わせの関係団体に北海道高等学校文化連盟を加え、文化系の部活動を含む部活動指導の見直しに係る申し合わせとし、平成29年1月開催の時間外勤務等縮減推進会議で決定し各学校に通知したところであります。各学校においては、部活動の指導や運営に当たって、生徒や担当教職員の健康、安全のため、週一日程度は休養日を設けること、授業日においては生徒の下校や教職員の退勤が遅くならないよう放課後の2～3時間程度で活動が終わるようにすること、休日においては早朝から終日にわたる活動を極力避け半日程度でも効果的な活動ができるようにすること、特定の教職員に負担が偏らないよう可能な限り複数顧問の配置を検討することの4点の申し合わせ事項に留意し、年間を通して工夫、改善を図ることを要請しております。

5点目は、体罰に関する調査票回収状況の2月15日現在の速報値をお伝えしております。

6点目は、平成28年度全国体力運動能力、運動習慣等調査結果についてですが、平成28年度全国体力テスト結果では、小学校男子のT得点は49.9であり全国と同様、8種目中3種目が全国を上回り、小学校女子のT得点は49.2で全国を下回ったが昨年度より0.7ポイント上昇し、全国との差が縮まった。また、中学校男子は4種目が全国を上回り、T得点は50.0と全国水準に達し、中学校女子は全国を上回ったのは1種目であるが、3種目で全国との差が縮まっており、T得点も0.7ポイント改善され、47.9となり全国との差は縮まっているところであります。平成29年度も悉皆調査を行います。

7点目は、平成29年度当初人事の状況についてお話ししました。

8点目は、平成29年度の教育予算ということで、総額27億9,598万9千円で対前年度比7,192万円、2.6%の増というお話をしました。

教育長	報告については以上であります。ご質問やご意見等ございますか。
山田委員	部活動指導の見直しについては良い方向に進んでいると感じております。
教育長	部活動に関しては多くの中学校教員が負担に感じているという実態があり、OECDの調査においても同様の結果となっております。 また、国においても外部講師の導入など柔軟な対応ができるような手立てを講じてきております。 他にご質問等ございませんか。
委員	一同了承
教育長	それでは次に議事に入ります。 議案第1号千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について事務局から説明願います。
企画総務課長	議案第1号千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について、ご説明いたします。 提案理由であります。平成29年第1回千歳市議会定例会に平成29年度教育行政執行方針及び教育行政の諸般について報告するため、本案を提出するものであります。 ～資料読み上げ～ 以上、第1号議案についてご説明いたしました。ご審議のほどよろしく願います。
教育長	議案第1号千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告についてご意見や質問等ございますか。
委員	一同了承（原案可決）
教育長	次に報告事項に入ります。 報告第1号平成28年度補正予算について事務局から説明願います。
企画総務課長	報告第1号平成28年度補正予算について説明いたします。 今回の補正予算は16件ございまして平成29年第1回定例会市議会に提案することとしております。 1件目は、寄附金（奨学基金）を補正するものであります。内訳といたしま

	<p>して、平成 28 年 11 月 4 日から平成 29 年 1 月 31 日までがありました、139 件の寄附採納額 5, 148, 670 円を歳入の寄付金及び歳出の積立金に追加するものであります。なお、基金残高の状況につきまして、補正後の基金残高は 77, 207, 792 円となりますが、年度末に今年度の給付額の合計である 6, 180 千円を基金から取り崩す予定となっております。</p> <p>次に小学校防音機能復旧事業費です。騒音対策補助事業として、換気設備・空調設備の老朽化に係る機能復旧を行うものですが、当事業において入札執行による契約額が確定し差額が生じたため、歳出予算について 7, 506 千円の減額補正を行うものです。また、当該事業については歳入として国庫補助金を見込んでおりますことから、これに伴いまして歳入を 4, 382 千円減額補正を行うこととしております。</p> <p>次に小学校大規模改修事業費です。学校施設の老朽化、経年劣化に伴う修繕対応が困難である改修工事を行うものですが、当事業において入札執行による契約額が確定し差額が生じたため、歳出予算について 11, 100 千円の減額補正を行うものです。また、当該事業については起債を充当しておりますことから、これに伴いまして歳入を 7, 000 千円減額補正を行うこととしております。</p> <p>次に新学校給食センター整備事業です。新学校給食センター整備に係る基本調査業務委託の契約金額が確定したことにより、予算に不用額が生じる見込みであるため、減額補正を行うものであり金額は 1, 912 千円です。</p> <p>次に債務負担行為に係る補正であります。債務負担行為とは市が複数年にわたる契約などを締結し翌年度以降の財政支出を約束する行為として議会の議決を得たものであり、今回の補正につきましては平成 28 年度予算におきまして平成 29 年度の支出を計上したものの補正を行うものであります。内容としては契約金額の確定により減額補正するものが 4 件、平成 29 年 4 月に予定していた消費税率の引き上げの延期に伴い消費税率変更影響分の債務負担行為の限度額を減額するものが 6 件ございます。</p>
教育長	<p>報告第 1 号平成 28 年度補正予算についてご意見やご質問はございますか。報告第 1 号については、報告済みといたします。</p>
委員	<p>一同了承（報告済）</p>
教育長	<p>次に、報告第 2 号平成 29 年度公益財団法人千歳青少年教育財団の事業計画及び予算について事務局から説明願います。</p>
生涯学習課長	<p>報告第 2 号について、平成 29 年度事業計画書及び収支予算書に基づいてご説明申し上げます。</p> <p>まず、はじめに、事業計画書の中の公益目的事業の 1 つ目、教育事業につい</p>

てであります。学習講座開設事業については千歳水族館学習事業といたしまして、29年度はアクアリウムナイトツアーなど3つの事業を実施いたします。次に、リーダー養成事業として、ジュニア・リーダー活動事業では講習会を実施し、シニア・リーダー活動事業ではシニア・リーダー研修会等の4つの事業を実施いたします。そのほか、自然教室、冬休み体験教室、体験学習を実施いたします。

次に、社会教育関連事業といたしまして、緑の村キャンプ大会を実施するほか、千歳子どもクリスマスの集い、ちとせっ子雪遊びを開催いたします。

次に、教育機関支援事業についてであります。小中学校の総合的な学習などへの協力や職業体験への協力を実施するほか、サケの稚魚による子どもたちの交流事業への協力として、市内小学生と岡山市の小学生との交流事業への協力を行うとともに、各種生涯学習関連事業への協力として、科学の祭典などに出席いたします。

次に、公益目的事業の2つ目、水族館管理運営事業についてであります。この部分につきましては、観光スポーツ部の所管となっておりますので、平成29年度の特徴的な部分のみ説明させていただきます。入館者の拡大推進についてであります。平成29年度につきましては、目標入館者数を28万8千人とし、そのうち65%に相当する18万8千人を有料入館者数としております。この目標を達成するために、6つの事業を実施し入館者増を図ってまいります。新たな取組といたしまして、フロアマッピングの新設では、地下の水中観察ゾーンに向かうスロープの床面に映像を投影し斬新な空間演出を行うほか、多言語システムの導入では、海外からの来館者に対し、スマートフォンなどにオリジナルのアプリケーションをインストールできるようにし、展示水槽や生物について多言語による解説を提供することとしております。

次に、年間パスポート会員の募集につきましては、平成29年度の目標を個人で8千7百人、法人で80口としております。

次に、平成29年度収支予算書についてご説明いたします。

公益目的事業会計は教育事業費と水族館管理運営事業費に係るものであります。はじめに、事業活動収支の部の事業活動収入からご説明いたします。

事業収入の水族館管理運営事業収入、これは入館料収入になりますが、有料入館者数を18万8千人で見込んで予算額を1億1千92万円とし、前年度と比較して5188万円の減となっております。

会員収入につきましては、個人・法人合わせまして941万3千円とし、前年度と比較して101万3千円の増となっております。

補助金等収入につきましては、先ほどの入館料収入の減額を見込んだため、水族館管理運営事業補助金収入は3368万4千円で前年度と比較し、3120万7千円の増、特定資産取得補助金収入では1129万1千円で前年度と比較し、1109万円の増となっております。

これらの結果、事業活動収入計は、2億3908万2千円となり、前年度と比較して562万6千円の減となっております。

次に、事業活動支出についてご説明いたします。

はじめに、事業費支出、教育事業費支出につきましては、2253万3千円で、前年度と比較し、284万3千円の増となっております。増額の主な理由は人件費の増であります。

次に、水族館管理運営事業費支出につきましては、1億5525万3千円で、前年度と比較し、1088万2千円の減額となっております。主な内訳といたしまして、増額分につきましては、職員の給与手当支出の増額及び開館時間延長に伴う臨時職員に支払われる賃金支出の増額、これら人件費の増額に伴う福利厚生費支出の増額、消費税額の増額による租税公課支出の増額等に対し、減額分につきましては、修繕費支出の減、使用料及び賃借料支出の減、団体入館者数の減少により旅行会社に対するクーポン券清算の手数料支出の減額、来館者へのプレゼントグッズや、年間パスポート会員へのダイレクトメールの見直しによる宣伝広告費支出の減額等から、結果として事業活動支出計は1億7778万6千円となり、前年度と比較して803万9千円の減額となっております。

続きまして、投資活動収支の部についてご説明いたします。

投資活動収入の特定資産取崩収入につきましては、入館者数拡大の新たな試みであるフロアマッピングに係る映像機器や、除湿器等の購入財源として増額となっており、前年度と比較して957万5千円の増となっております。投資活動支出につきましても、固定資産取得支出において先ほど説明した備品の購入費として増額となっており、前年度と比較して742万円の増となっております。また、財務活動収支の部につきましては、リニューアル工事に係る借入金返済支出5千万円と、使用料及び賃借料から科目誤りのため、1年以内リース債務返済支出に振り替えた385万7千円を計上しております。

最後に、法人会計についてであります。平成29年度は業務執行理事が交代することによって、役員報酬が増額となりますが、そのほかについては大きな増減はなく、前年度並みの予算となっております。

私からは以上でございます。

教育長

ただいまの事務局の説明に対してご意見、ご質問等はございますか。

生涯学習課長

水族館の開館時間の変更について補足説明させていただきますが、これまでの9時から17時までの開館を18時まで延長することとしております。

佐々木委員

9時から入館する団体が多いので開始時間は変更していないのかもしれませんがね。

教育長	<p>その他ございますか。 報告第2号については、報告済みといたします。</p>
委員	<p>一同了承（報告済）</p>
教育長	<p>次に、報告第3号千歳市学校教育基本計画の総合評価結果について事務局から説明願います。</p>
企画総務課長	<p>報告第3号千歳市学校教育基本計画の総合評価結果についてご説明いたします。本計画は、千歳市教育委員会として初めて策定した学校教育に関する中長期計画で、教育行政の基本的な方向性や具体的な施策を示し、これからの千歳市の教育が目指す姿を明らかにしたものであります。計画の推進に当たっては、各施策に掲げた主な取組を着実に進めることにより基本目標が具現化することから、PDCAサイクルの考え方にに基づき、毎年度、取組の進捗状況を把握し、評価を行うことにより、改善に努め、計画の実行性を高めることとしております。このたび、本計画に掲げた主な取組について、27年度に実施した教育委員会及び学校の取組状況を評価した結果と、各種調査結果をもとに目標指標を算出したものを総合的に判断し、30の施策項目ごとに総合評価を行ったので報告いたします。</p> <p>はじめに、主な取組の評価結果についてであります。評価にあたっては、教育委員会及び各学校で、主な取組ごとにA着実に取組んでいる、B取組んでいる、Cあまり取組んでいない、D取組んでいないの判定区分により自己評価を行いました。</p> <p>次に、各学校で自己評価した結果の平均値の前年度比較ですが、前年度より評価が上回った取組はスクールカウンセラーの配置を含め12件、評価が下がった取組が0件、評価が同じだった取組が69件となっております。</p> <p>次に、学校ごとの評価結果ですが、各学校には、主な取組の学校平均値と自分の学校の評価を比較した結果を通知しており、自分の学校の取組状況を把握することにより、更なる取組の推進をお願いしております。</p> <p>次に、教育委員会の各担当課が自己評価した結果を前年度と比較したものであり、前年度より評価が上回った取組は4件、評価が下がった取組が0件、評価が同じだった取組が46件となっております。主な取組の評価結果では、各学校及び教育委員会とも評価が下がった取組は0件となっており、着実に取組みが進んでいる結果となっております。</p> <p>次に、目標指標の結果についてであります。目標指標は30の施策項目ごとに全国学力・学習状況調査や石狩管内教育推進計画の評価に関する調査結果をもとに指標を掲げており、32年度の目標値を設定しております。前年度と比較してよくなったか、悪くなったかを記載しております。目標指標の結果では、</p>

	<p>143 件ある指標に対して、32 年度の目標値を達成した指標は 39 件、全体の 27.8%となっているが、前年度より上回った指標は 55 件、全体の 39.3%で、合わせると 67 件、全体の 67%となっており、目標達成に向けて着実に取組みが進んでいる結果となっております。</p> <p>次に、総合評価についてであります。30 の施策項目ごとに教育委員会と学校の評価を点数化しその平均点から判定しております。はじめに教育委員会及び学校の評価をそれぞれ A が 3 点、B が 2 点、C が 1 点、D が 0 点と点数化し平均値を算出します。なお、施策項目ごとの達成度については、前年度より上回った施策が 30 件中 12 件となっており、下回った施策は 0 件となっております。総合評価では、主な取組が全て A 評価で達成度も A 評価だった施策が 30 件中 18 件、全体の 60%となっており、着実に取組が進んでいる結果となっております。</p> <p>最後に、施策項目ごとの主な取組の評価結果と目標指標の調査結果を示したのですが、総合評価では達成度と各評価結果及び達成度をもとに、施策の現状について分析した、今後の方針・課題を掲げております。</p> <p>全体的に評価結果は前年度を上回っており、着実に取組が進んでいることから、引き続き P D C A サイクルの考え方にに基づき、進捗状況を把握し、現状や課題を明らかにするとともに、必要に応じて改善等を行い、計画の進行管理を図ってまいります。</p> <p>以上、千歳市学校教育基本計画の総合評価結果について説明を終わります。</p> <p>補足説明いたします。</p> <p>目標指標の結果についてであります。目標を達成した指標が 39 件で全体の 27.8%ということは一見少ないと感じられるかもしれませんが、この目標設定は計画の最終年度である 32 年度時点での設定値であり、32 年度を待たずに 27.8%が既に目標を達成しているということでもあります。</p>
教育部長	
教育長	<p>ただいまの事務局の説明に対してご意見、ご質問等がございますか。報告第 3 号については、報告済みといたします。</p>
委員	<p>一同了承（報告済）</p>
教育長	<p>報告事項は以上であります。その他よろしいですか。これもちまして本日の会議を終了します。</p>